

地方創生における住宅団地の再生事例【兵庫県三木市 緑が丘地区】

○昭和45年頃からニュータウン開発が進み、人口が急激に増加。現在は市内の他の地域と比較して高齢化が進行。

(高齢化率(平成30年9月末時点) 緑が丘地区:40.6%、三木市全体:33.0%)

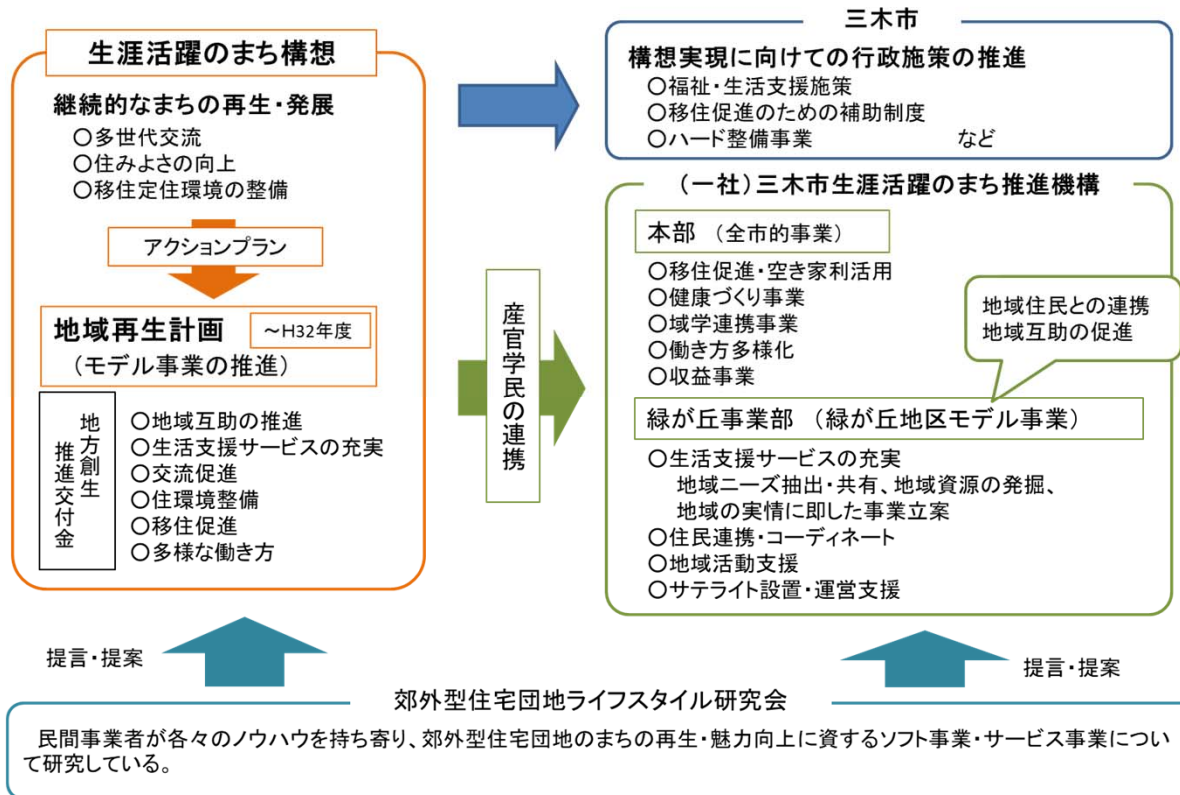
○継続して住み続けられ、若い世代を呼び込む住宅団地に再生するため、

- ・産・官・民・学が連携した再生手法の検討、支援組織の立ち上げ。
- ・地域内にサテライト拠点を設置し、地域交流や移住・住替え等を促進。
- ・ICTを活用したコワーキングスペースの設置等、就労環境の整備。
- ・健康、福祉サービス等の利便サービスの提供。
- ・地方創生の課題として地域再生計画に位置づけ、地方創生推進交付金により取組みを支援。

【緑が丘地区 住宅団地再生の推進体制と事業内容】



戸建住宅を中心とした住宅団地



緑が丘事業部兼サテライト